

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、芳川圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和4年12月16日（金）9時半から11時まで
参加者	委員：11人 事務局：2人 その他：6人（市役所・区役所・地域包括支援センター）
場所	南区役所 大会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 芳川圏域生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3. 協議事項 目標：今ある活動が抱える課題を知り、活性化へつなげよう</p> <p>① 前回の振り返り 生活支援コーディネーターより、第2回協議体会議の振り返りをした。</p> <p>②【情報共有】台風15号の災害支援における地域のつながりについて 浜松市社会福祉協議会より、台風15号の災害支援の事例を共有し、そこから浮かび上がる地域のつながりの大切さを説いた。 〈情報共有に至った経緯〉 前回会議にて、大雨の影響を受けることの多い当圏域にて地域の支え合いのできることはないか協議した。奇しくも、会議の翌日に発生した台風15号により、県内に大きな被害が及ぼされた。市社協が災害支援にあたった際、支援依頼は高齢者のみの世帯からがほとんどであったことや、近隣住民に助けられる機会が多くあったこと、反対に孤立していたために支援開始が遅れたケースもあったことから生活支援体制づくりにつながるため、情報共有に至った。</p> <p>③【情報共有】地域であがった孤立しないためのアイデアについて 地域包括支援センター芳川より、どのように地域でつながれるか協議するため、「第2回 遠州浜地区地域ケア会議」で挙げた孤立しないためのアイデアを共有した。</p> <p>④【意見交換】孤立しないためのアイデアについて 地区ごとに分かれて、意見交換をした。</p> <p>4. 次回の協議体会議について 生活支援コーディネーターより、次回の開催日は未定であるため後日案内することを伝えた。</p>

	<p>5. 連絡事項 特になし。</p> <p>6. 閉会 芳川圏域生活支援体制づくり協議体 副会長</p>
今後の見通し等	・意見交換にて挙げた孤立しないためのアイデアから、地区ごとに異なる実情に合わせ、具体的な取り組みに向けて協議していく。